

「第55回構造工学シンポジウム」

土木部門プログラム

1. 主催 — 日本学術会議 土木工学・建築学委員会, 日本建築学会, 土木学会
2. 開催日 — 2009年4月23日(木) - 24日(金)
3. 会場 — 日本学術会議 (〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34)
4. 参加費 — 無料, 参加自由
5. 懇親会の開催: 下記により懇親会を開催いたします。参加ご希望の方は受付にお申し込みください。
日時: 2009年4月23日(木) 18:30~20:30
場所: はあといん乃木坂
会費: 5,000円 (受付でお支払ください)
6. 特別講演会
日時: 2009年4月23日(木) 15:15~16:15
会場: 日本学術会議 講堂
講師: 藤野 陽三 (東京大学)
題目: 「社会・都市基盤の事故災害リスクの低減とモニタリング」
司会: 山口 栄輝 (九州工業大学, 土木学会構造工学論文集編集小委員会委員長)
7. 土木・建築合同パネルディスカッション: 「モニタリングが開く構造工学の可能性」
日時: 2009年4月23日(木) 16:25~18:15
会場: 日本学術会議 講堂
挨拶: 山田 聖志 (豊橋技術科学大学, 日本建築学会構造工学論文集編集小委員会主査)
パネリスト: 薛 松濤 (近畿大学): 「目視できない建築構造のヘルスマニタリングシステムの現状及びいくつかの問題点」
小国 健二 (慶応義塾大学): 「GPS on Every Roof」
倉田 成人 (鹿島建設): 「センサネットワークによるユビキタス構造モニタリング」
島村 誠 (JR 東日本): 「鉄道土木構造物メンテナンスにおける SHM 技術の現状と可能性」
藤野 陽三 (東京大学)
司会: 穴見 健吾 (芝浦工業大学, 土木学会構造工学論文集小委員会幹事長)
田村 修次 (京都大学, 日本建築学会構造工学論文集編集小委員会幹事)
8. 構造工学論文集 Vol.55A の販売: 受付にて販売いたします。郵送も承ります。定価 6,000円 (送料別)

9. 問い合わせ先 — 土木学会研究事業課 増永克也

TEL 03-3355-3559, FAX 03-5379-0125, E-mail masunaga@jsce.or.jp

土木部門プログラム

	5A-1会場	5A-2会場	5C-1会場	5C-2会場
4月23日(木)	地中構造・基礎構造 9:15~9:45 座長:末政直晃	橋梁制震・免震(1) 9:15~10:30 座長:伊津野和行	構造安定・耐荷力(1) 9:00~10:30 座長:小畑誠	衝撃問題(1) 9:00~10:30 座長:三上浩
	橋梁床版(1) 10:40~12:10 座長:阿部忠	橋梁制震・免震(2) 10:40~11:40 座長:成行義文	構造安定・耐荷力(2) 10:40~12:25 座長:小野潔	衝撃問題(2) 10:40~12:10 座長:園田佳巨
	休憩 12:10~13:10			
	橋梁床版(2) 13:10~14:40 座長:岩崎正二	設計工学 13:10~14:55 座長:吉田郁政	構造力学・構造工学 一般 13:10~13:55 座長:岩崎英治	衝撃問題(3) 13:10~14:55 座長:藤掛一典
			計算力学・材料力学 14:05~14:35 座長:岡澤重信	
	特別講演会(講堂) 15:15~16:15			
	パネルディスカッション(講堂) 16:25~18:15			
	懇親会(はあといん乃木坂) 18:30~20:30			
4月24日(金)	コンクリート構造・橋 9:30~11:30 座長:小林薫	鋼, 木構造・橋(1) 9:00~10:30 座長:奥井義昭	橋梁耐震(1) 9:00~10:30 座長:永田和寿	地震工学(1) 9:00~10:30 座長:紺野克昭
		鋼, 木構造・橋(2) 10:40~11:55 座長:平沢秀之	橋梁耐震(2) 10:40~12:10 座長:葛漢彬	地震工学(2) 10:40~12:10 座長:一井康二
	休憩 12:10~13:10			
	合成・複合構造(1) 13:10~14:10 座長:本間淳史	維持管理(1) 13:10~14:25 座長:井ヶ瀬良則	橋梁耐震(3) 13:10~14:25 座長:北原武嗣	振動・振動制御 13:10~14:55 座長:柳澤則文
	合成・複合構造(2) 14:35~15:35 座長:杉浦邦征	維持管理(2) 14:35~15:50 座長:佐々木栄一	橋梁耐震(4) 14:35~15:35 座長:高橋良和	流体関連振動・風工 学 15:05~15:50 座長:勝地弘

第1日：4月23日（木）

5A-1会場：

9:15~9:45 地中構造・基礎構造

座長：末政直晃（武蔵工業大学）

(15-1) 複合地盤における杭基礎の力学挙動評価と耐震性能照査

○富澤幸一・西本聡・三浦清一

(15-2) 地中梁水平地盤抵抗および鋼矢板囲い込み工を考慮した設計モデルの提案

○近藤政弘・常田賢一・西山誠治・神田政幸

10:40~12:10 橋梁床版(1)

座長：阿部忠（日本大学）

(17-1) 輪荷重走行試験機を主体とした床版研究の動向

○松井繁之

(17-2) 道路橋RC床版上面の凍害劣化と疲労寿命への影響

○三田村浩・佐藤京・本田幸一・松井繁之

(17-3) 積雪寒冷地におけるRC床版の疲労耐久性向上について

○小野貴之・三田村浩・林川俊郎・松井繁之

(17-4) 合成床版を有する連続合成桁の中間支点部に関する実験

水越秀和・春日井俊博・○坪内佐織・結城洋一

(17-5) B W I Mを応用した実働荷重と走行位置が鋼床版の疲労損傷に与える影響検討

○高田佳彦・木代穰・中島隆・薄井王尚

第1日：4月23日（木）

5A-1会場：

13:10~14:40 橋梁床版(2)

座長：岩崎正二（岩手大学）

(17-6) 走行荷重が作用する道路橋RC床版の押抜きせん断耐力評価式

阿部忠・木田哲量・○水口和彦・川井豊

(17-7) UFC埋設型枠RC床版の合成面のせん断強度および理論押抜きせん断耐力式

○阿部忠・木田哲量・新見彩・高野真希子・田中敏嗣

(17-8) UFC埋設型枠を用いたRC床版の実験耐力および疲労耐久性評価に関する研究

○新見彩・阿部忠・木田哲量・田中敏嗣

(17-9) 輪荷重走行試験結果の統一的评价に関する検討

○大西弘志・上條崇・関口幹夫・長屋優子・水越秀和・肥後野孝倫・堀川都志雄

(17-10) ゴムジョイント付きRC床版の輪荷重走行疲労実験

○関口幹夫・橋原正周・堀川都志雄

(17-11) ゴムタイヤ式輪荷重走行疲労試験機によるRC床版のはり幅の検討

○関口幹夫・長屋優子・横山広・大西弘志・上條崇・堀川都志雄

第1日：4月23日（木）

5A-2会場：

9:15~10:30 橋梁制震・免震(1)

座長：伊津野和行（立命館大学）

(9-1) Seismic performance of isolated curved steel viaducts under level II earthquakes

○Carlos Mendez Galindo・Toshiro Hayashikawa・Daniel Ruiz Julian

(9-2) Earthquake ground motion spatial variation effects on seismic response control of cable-stayed bridges

○Shehata E. Abdel Raheem・Toshiro Hayashikawa・Uwe Dorka

(9-3) 高機能座屈拘束ブレースの開発研究

○宇佐美勉・佐藤崇・葛西昭

(9-4) 微小粉体とオイルを混合したビンガムダンパーの耐震性能実験

○水野千里・青木徹彦・鈴木森晶

(9-5) ダンパーを用いた鋼上路式アーチ橋の耐震補強対策

○太田あかね・大塚久哲・野原秀彰・新井雅之・森崎啓・馬淵倉一

10:40~11:40 橋梁制震・免震(2)

座長：成行義文（徳島大学）

(9-6) 終局照査用地震動に基づくPCケーブル型落橋防止構造の動的応答性状

○竹田周平・幸左賢二・伊津野和行・宮島昌克・北浦勝

(9-7) 錘落下実験による落橋防止ケーブル取付け部強度に関する検討

○野阪克義・藤原啓隆

(9-8) 橋梁用ゴム緩衝材の機能特性と実橋への適用に関する研究

○青地知也・大島俊之・宮森保紀・増田兼士・若杉洋

(9-9) 桁遊間量・地盤条件が桁一橋台間衝突に及ぼす影響検討

幸左賢二・宮菌雅裕・今村壮宏・○坂本裕史

第1日：4月23日（木）

5A-2会場：

13:10~14:55 設計工学

座長：吉田郁政（武蔵工業大学）

- (4-1) ライフラインの地震時機能不全による人的被害の可能性に係わるリスク認知の計量化 ○庄司学・坂倉佳織
(4-2) 土石流荷重の作用位置の不確定性と設計作用モデル ○片出亮・金子智成・香月智
(4-3) OD変動とユーザーコストを考慮した橋梁群補修スケジューリング支援 ○近田康夫・平田賀也・城戸隆良
(4-4) 治山ダム礫中詰材のFEMモデリングに関する基礎的検討
金子智成・○森雅美・香月智・田附正文・Nghiem Minh Quang
(4-5) 橋梁部材の陸上輸送計画支援システム ○保田敬一・伊藤則夫・古田均
(4-6) 重点サンプリング法を用いたモンテカルロシミュレーションによる防波堤の累積滑動量に対する破壊確率評価の
効率化に関する研究 ○長尾毅
(4-7) 腐食の進行を考慮した矢板式岸壁のライフサイクルコストの簡易評価法に関する研究 長尾毅・○尾崎竜三

第1日：4月23日（木）

5C-1会場：

9:00~10:30 構造安定・耐荷力(1)

座長：小畑誠（名古屋工業大学）

- (2-1) FRP積層円筒シェルのRS座屈耐荷力の特性 山田聖志・○柳田将之
(2-2) ボルト継手を有する鋼I桁下フランジへの高弾性CFRP板による補強方法に関する実験的研究
○越智内士・松村政秀・久部修弘
(2-3) 厳しい塩害腐食環境下にあった鋼圧縮部材の残存耐荷力実験 ○山沢哲也・野上邦栄・園部裕也・片倉健太郎
(2-4) 腐食した圧縮鋼補剛板の終局強度評価法 奈良敬・○井上尚也・松永光示・竹内正一
(2-5) ステンレス鋼を用いた圧縮フランジ板の耐荷力評価 ○有住康則・矢吹哲哉・下里哲弘・池宮真人・松下裕明
(2-6) 二相系ステンレス鋼板の極限圧縮強度特性 三好崇夫・○宮寄靖大・奈良敬

10:40~12:25 構造安定・耐荷力(2)

座長：小野潔（東京工業大学）

- (2-7) ダムゲート脚柱部の耐荷力特性に関する検討 ○齋藤潔・山本広祐
(2-8) ハイブリッド桁における曲げせん断相互作用とウェブ挙動に関する一考察
○大橋和洋・野阪克義・奥村学・伊藤満
(2-9) 合成I桁の正、負曲げ及び相関強度評価に関する一考察
長井正嗣・稲葉尚文・奥井義昭・宮下剛・○平山繁幸・細見直史
(2-10) 局所加熱を受けた波形鋼腹板桁のせん断耐荷力について ○渡辺孝一・久保全弘
(2-11) 極厚フランジを有するプレートガーダーの曲げ崩壊形式と変形能 ○入川充夫・藤井堅・川見周平・南鉄木
(2-12) 幅方向テーパ鋼板を腹板に用いた鋼I桁の曲げおよびせん断挙動
○橋本国太郎・山口隆司・大塚浩介・杉浦邦征・鈴木康夫・熊野拓志
(2-13) 鋼I形断面梁圧縮フランジの耐荷力に関する考察 ○山口栄輝・定宗幸雄・村越潤・清水英樹・小野潔・梁取直樹

第1日：4月23日（木）

5C-1会場：

13:10~13:55 構造力学・構造工学一般

座長：岩崎英治（長岡技術科学大学）

- (1-1) 一自由度振動系を設置した浮屋根による円筒タンクのスロッシング波高の低減 ○高西照彦・水田洋司・川口周作
(1-2) 空間柔ケーブルによる非抗圧膜構造モデルの有限変位解析 ○井嶋克志・帯屋洋之・川崎徳明
(1-3) 損傷を有する石造アーチ橋の力学的挙動特性の検討 山尾敏孝・山本健次郎・○小石剛之・工藤輝彦

14:05~14:35 計算力学・材料力学

座長：岡澤重信（広島大学）

(3-1) フレッシュコンクリートの流動解析における MPS 法の適用

○富山潤・入部綱清・崎原康平・伊良波繁雄・山田義智

(3-2) 離散型有限要素モデルによる石造アーチ橋の静的・動的強度評価

○浅井光輝・山下和也・山崎礼智・荒木和哉

第1日：4月23日（木）

5C-2会場：

9:00~10:30 衝撃問題(1)

座長：三上浩（三井住友建設）

(16-1) 衝撃荷重を受ける RC 梁の最大応答変位の解析的評価

○藤掛一典・リービン・サムスーン

(16-2) 衝撃荷重が作用する PC 梁部材のせん断耐荷性状に及ぼす載荷幅の影響

黒田一郎・○吉村太郎・山本佳士・古屋信明・中村佐智夫

(16-3) RC 梁の繰り返し重錘落下衝撃挙動に関する数値シミュレーション

○岸徳光・今野久志・三上浩

(16-4) 円柱形鉄筋要素導入型三次元個別要素法による RC はりの衝撃応答解析

原木大輔・○香月智・藤掛一典

(16-5) PVA 短繊維混入による RC 片持ち梁の耐衝撃性向上効果に関する実験的研究

○栗橋祐介・岸徳光・三上浩・田口史雄

(16-6) RC はりの衝撃特性と性能評価に関する実験的研究

○橋紗代子・榎谷浩・中村佐智夫

10:40~12:10 衝撃問題(2)

座長：園田佳巨（九州大学）

(16-7) 環境温度と速度効果を考慮したゴム製防舷材の設計手法に関する一考察

○下菌征史・西本安志・園田佳巨

(16-8) 巨礫の衝突を受ける砂防ソイルセメントえん堤の衝撃挙動に関する基礎的考察

○別府万寿博・中村徹・牛窪光昭・石川信隆

(16-9) 3次元DEMを用いた重錘落下による実物大サンドクッションの衝撃応答解析

○渡辺高志・榎谷浩・佐藤彰・中村佐智夫

(16-10) 斜面の植生を考慮した落石運動シミュレーションによる危険度評価について

○榎谷浩・天沼康平・辻直志

(16-11) 敷砂緩衝工を設置した RC 製アーチ構造の耐衝撃挙動に関する実規模重錘落下衝撃実験

○川瀬良司・岡田慎哉・鈴木健太郎・岸徳光

(16-12) 低速度衝撃を受ける四辺支持 RC 版の耐衝撃設計法に関する一提案

岸徳光・○三上浩・栗橋祐介

第1日：4月23日（木）

5C-2会場：

13:10~14:55 衝撃問題(3)

座長：藤掛一典（防衛大学校）

(16-13) ライナープレートの耐衝撃性評価に関する一考察

○安藤智啓・小林英昭

(16-14) 爆土圧を受ける地中埋設構造部材の変形と損傷に関する実験的研究

○市野宏嘉・大野友則・別府万寿博・蓮江和夫

(16-15) SPH 粒子法の構造部材の弾塑性解析への適用に関する基礎的研究

○深澤仁・園田佳巨

(16-16) 繰り返し衝撃荷重を受ける RC 部材の残存性能評価法の実現象への適用

○玉井宏樹・園田佳巨

(16-17) 航空機衝突時の衝撃荷重を受ける金属キャスクの密封性能に関する数値解析的評価

○南波宏介・白井孝治・三枝利有・島村和夫

(16-18) RC ラーメン構造の耐衝撃挙動に関する実験的検討および数値解析手法の妥当性検討

○岡田慎哉・岸徳光・西弘明・今野久志

(16-19) 鉄道車両逸脱防止装置の耐衝撃性能評価に関する解析的研究

園田佳巨・○淵上翔太・綿島理晃

第2日：4月24日（金）

5A-1会場：

9:30~11:30 コンクリート構造・橋

座長：小林薫（東日本旅客鉄道）

(13-1) 高靱性セメント巻き立て厚に着目した耐震補強実験

○幸左賢二・小川敦久・合田寛基・脇田和也

(13-2) ASR 構造物より採取したコアの力学的特性に関する研究

○幸左賢二・久利良夫・川島恭志・三浦正嗣

- (13-3) 純ねじり荷重を受ける RC 部材の三次元非線形有限要素解析 大塚久哲・○秦逸平・宇山友理
- (13-4) プレキャスト部材を用いたシールドトンネル立坑の構造設計 足立幸郎・岩里泰幸・○具志一也・田崎賢治・中岡和伸
- (13-5) 波形鋼板ウェブ箱桁橋の下床版埋込み接合構造に関する一考察 ○平喜彦・青木圭一・萩原直樹・伊藤篤・廣瀬毅
- (13-6) 鉄筋とコンクリートの荷重分担を考慮した RC 部材の履歴モデルの提案 ○瀧口将志・大塚久哲・池永貴史
- (13-7) Numerical investigation of tension behavior of reinforced concrete members strengthened with FRP sheets ○Khalid Farah・Yasuhiko Sato
- (13-8) SRC中空橋脚におけるせん断補強筋の定着に関する実験的検討 ○平野勝識・笹谷輝勝・松岡智・新田裕之・土屋智史・島弘

第2日：4月24日（金）

5A-1会場：

13:10~14:10 合成・複合構造(1)

座長：本間淳史（東日本高速道路）

- (14-1) 二重合成2主I桁橋の下コンクリート床版におけるスタッドの設計法 ○山本真気・木部謙吾・大山理・大久保宣人・栗田章光
- (14-2) 鋼繊維補強された軽量2種コンクリートを用いた孔あき鋼板ジベルのせん断耐力評価 ○山口浩平・日野伸一・郭勝華・崔智宣・園田崇智
- (14-3) ずれ止め構造の拘束効果に関する基礎的研究 大島義信・小木崇広・○杉浦邦征・服部篤史・河野広隆・利根川太郎
- (14-4) 過大な繰り返しせん断力を受けるずれ止め構造の履歴特性に関する研究 ○大島義信・小木崇広・杉浦邦征・服部篤史・河野広隆・利根川太郎

14:35~15:35 合成・複合構造(2)

座長：杉浦邦征（京都大学）

- (14-5) 接着剤および高力ボルトを用いた GFRP・鋼接合部の強度特性に関する実験的研究 ○小林憲治・日野伸一・山口浩平・大本透
- (14-6) 鉄道橋における路盤コンクリートを有効とした複合桁構造に関する解析的研究 藤原良憲・池田学・杉浦忠治・○久保武明
- (14-7) ゴムラテックスモルタル被覆を用いた低騒音鋼橋の開発に関する研究 ○谷口望・半坂征則・碓山晴久・上月隆史・棚橋明朗・依田照彦
- (14-8) アルミニウム床版と鋼桁の合成作用 ○大倉一郎・石川敏之・高木真広・武野正和

第2日：4月24日（金）

5A-2会場：

9:00~10:30 鋼, 木構造・橋(1)

座長：奥井義昭（埼玉大学）

- (12-1) 縦桁を有する木製中路式アーチ車道橋の構造特性 ○中田雄太・本田秀行・植野芳彦
- (12-2) 鋼板挿入集成材梁のせん断性能 ○大黒屋信英・後藤文彦・佐々木 貴信・長谷部薫
- (12-3) 鋼板挿入集成材梁のせん断応力に関する実験と FEM 解析 ○千田知弘・佐々木貴信・後藤文彦・薄木征三・飯島泰男
- (12-4) 木コンクリート合成桁におけるプレストレス導入力の経時変化に関する研究 ○荒木昇吾
- (12-5) 溶融亜鉛浸漬時に発生しためっき割れ及び熱変形の事例解析と対策 ○土屋和弘・岩崎正二・出戸秀明・今野貴史・辻英朗
- (12-6) CFT アーチリブで部分的に補剛された鋼箱桁橋の構造特性 ○田中寛泰・中村俊一・森屋圭浩

10:40~11:55 鋼, 木構造・橋(2)

座長：平沢秀之（函館工業高等専門学校）

- (12-7) テーパー鋼板およびそれを用いた箱桁の初期不整に関する実測と考察

○熊野拓志・鈴木康夫・北原武嗣・杉浦邦征・山口隆司

- (12-8) 橋桁架設時のサンドルの安定性に関する基礎的研究 ○高橋弘樹・大嶋勝利・高梨成次
- (12-9) レーザー加工孔を有する高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力と疲労強度 ○岩崎英治・山野達也・森猛
- (12-10) 圧縮力を受ける F18T 級超高力ボルト摩擦接合継手の力学的挙動に関する解析的研究
山口隆司・北田俊行・池田敬之・○吉岡夏樹
- (12-11) 可撓性フィラーによる引張ボルト接合継手の高強度化に関する実験的研究
○鈴木康夫・山口隆司・中島章典・清水崇寛

第2日：4月24日（金）

5A-2会場：

13:10~14:25 維持管理(1)

座長：井ヶ瀬良則（西日本高速道路）

- (11-1) 特殊アクリル樹脂の損傷コンクリート補修効果に関する基礎的実験 足立国明・○香月智・福井秀平
- (11-2) 炭素繊維シートとCFアンカーを用いた耐震補強工法におけるCFアンカー埋込部の定着耐力
○池谷純一・塚越英夫
- (11-3) 鉄筋腐食させたRC梁の非破壊検査に基づく残存曲げ耐力算定に関する基礎的研究
○黒田一郎・村上将也・山本佳士・古屋信明
- (11-4) 劣化損傷した既設橋梁の残存耐荷性能の評価に関する基礎的研究 園田佳巨・○大曲正紘
- (11-5) 信頼性理論に基づくラジアルゲートの維持管理基準に関する検討 中村秀治・○塩竈裕三・木村哲也

14:35~15:50 維持管理(2)

座長：佐々木栄一（横浜国立大学）

- (11-6) Determination of tensile crack bridging of PCM-concrete interface subjected to fatigue loading by means of bending test
○Dawei Zhang・Hitoshi Furuuchi・Akihiro Hori・Fujima Seiji・Tamon Ueda
- (11-7) Fatigue crack propagation behavior of fillet welded joint subjected to bending
○Biehn Baik・Toshiyuki Ishikawa・Kentaro Yamada
- (11-8) 腐食桁におけるリベットの継手強度と高力ボルト置換に関する基礎的研究 ○木村元哉・中山太士・松井繁之
- (11-9) 水中溶接鋼板添接補修された断面欠損鋼管の耐力実験 ○北根安雄・伊藤義人・渡邊尚彦・松岡和巳
- (11-10) 一般構造用鋼管へのあて板湿式水中溶接補修の継手挙動のモデル化 ○渡邊尚彦・北根安雄・伊藤義人

第2日：4月24日（金）

5C-1会場：

9:00~10:30 橋梁耐震(1)

座長：永田和寿（名古屋工業大学）

- (8-1) 橋梁への津波作用力に関する実験的検討 ○二井伸一・幸左賢二・庄司学・木村吉郎
- (8-2) 津波波力による桁移動現象の解析的検討 幸左賢二・二井伸一・庄司学・○宮原健太
- (8-3) 内蔵型円柱部材により水平地震力を支持する固定支承の開発 ○田中健司・合田裕一・完塚正美・小泉貴宏
- (8-4) ノックオフ機能付き支承構造を用いた既設橋梁の耐震補強対策
本荘清司・横山和昭・前原直樹・○田崎賢治・姫野岳彦
- (8-5) 鋼上路式アーチ橋の耐震補強設計に関する検討 本荘清司・横山和昭・前原直樹・○田崎賢治・川神雅秀
- (8-6) 一層目はり中央がせん断崩壊する鋼二層門形ラーメンのオンライン実験法による地震応答解析
○酒造敏廣・山田幸・都築禪

10:40~12:10 橋梁耐震(2)

座長：葛漢彬（名城大学）

- (8-7) Evaluation of seismic resistance for a multi-spans bridge in Vietnam by investigation of earthquake activity and dynamic response analysis
○Tran Viet Hung・Osamu Kiyomiya・Tongxiang An
- (8-8) 大規模地震時における長大吊橋の終局限界状態に関する解析的研究
○遠藤和男・福永勸・家村浩和・八田政仁・野中哲也
- (8-9) 上下部一体鋼ラーメン高架橋の耐震性能評価 ○垣内辰雄・葛西昭・稲垣冨城・藤原良憲・宇佐美勉

- (8-10) 震源断層近傍における上路式鋼トラス橋の応答特性 原田隆典・○野中哲也・王宏沢・岩村真樹・宇佐美勉
 (8-11) 断層変位を受ける中路式鋼アーチ橋の地震時挙動に関する研究 ○辻野慶恵・山尾敏孝・村上慎一・柚木浩一
 (8-12) 断層変位を受ける鋼斜張橋の耐震安全性に関する研究 大塚久哲・○中村壮・古川愛子

第2日：4月24日（金）

5C-1会場：

13:10~14:25 橋梁耐震(3)

座長：北原武嗣（関東学院大学）

- (8-13) 鋼製厚肉断面橋脚における延性き裂発生の評価に関する実験的および解析的研究 ○葛漢彬・津村康裕
 (8-14) 鋼構造物の延性き裂発生の評価法の実験データによる検証 葛漢彬・○藤江渉・田島僚
 (8-15) 2方向地震動を受ける円形断面鋼製橋脚の限界値と動的耐震照査法に関する考察
 ○後藤芳顕・村木正幸・海老澤健正
 (8-16) ポスト形式橋脚を有する鋼鉄道橋の地震時挙動に関する基礎的検討
 ○黒田智也・池田学・杉館政雄・齋藤聡・工藤伸司
 (8-17) 高変形能低強度断面を有する鋼製橋脚に支持された高架橋の耐震性能評価 松村政秀・○内田諭・北田俊行

14:35~15:35 橋梁耐震(4)

座長：高橋良和（京都大学）

- (8-18) コンクリート充填スパイラル鋼管柱の正負交番載荷実験とその耐震性能評価法に関する基礎的研究
 秋山充良・○内藤英樹・小野潔・山口恭平・鈴木基行
 (8-19) コンクリート充填中空式2重鋼管構造橋脚の耐震性に関する研究
 杉浦邦征・○林堂靖史・橋本国太郎・大島義信・河野広隆
 (8-20) RC柱部材のねじり剛性低下の定式化と動的解析への適用の研究 大塚久哲・○宇山友理・秦逸平
 (8-21) 水平2方向地震動の強度評価と偏心RC橋脚の動的非線形応答特性 ○青戸拡起・吉川弘道

第2日：4月24日（金）

5C-2会場：

9:00~10:30 地震工学(1)

座長：紺野克昭（芝浦工業大学）

- (7-1) 東京および近隣の長周期地震動による応答継続時間について ○篠泉
 (7-2) 地殻内地震の応力パラメータに関する基礎的研究 —2003年宮城県北部地震および2005年福岡県西方沖地震—
 ○鶴来雅人・香川敬生・入倉孝次郎
 (7-3) 定常確率過程に基づく初通過理論に地震動の非正常性を考慮した応答スペクトル適合地震動の作成
 ○島田智之・三神厚・牧浩行・成行義文
 (7-4) 心棒の寸法・本数が洋型墓石の地震時挙動に及ぼす影響の分析 ○古川愛子・三輪滋・清野純史
 (7-5) 鋼製円筒タンクの地震リスクに対する性能設計法 ○今井俊雄・荻久保智隆・小池武
 (7-6) 滑走路地盤の合理的な液状化対策とその確率的評価法 ○池野勝哉・吉田誠・熊谷隆宏・菅野高弘・中澤博志

10:40~12:10 地震工学(2)

座長：一井康二（広島大学）

- (7-7) 載荷履歴の影響を考慮した砂の体積変化特性モデル ○大矢陽介・吉田望・菅野高弘
 (7-8) 河川堤防の耐震性評価における継続時間の長い地震動に対する有効応力解析の適用性の検討
 ○吉澤睦博・酒井久和・渦岡良介
 (7-9) 骨組みモデルを用いた控え直杭式矢板岸壁のレベル1地震動に対する変形性能評価の高度化に関する研究
 長尾毅・○宮下健一朗
 (7-10) 鋼板セル式岸壁の地震時挙動に関する研究 ○佐藤成・竹信正寛・小濱英司・清宮理
 (7-11) 高架道路橋の地震時機能損失評価 ○笛木孝哲・庄司学
 (7-12) 単径間橋桁に作用する砕波津波の荷重に関する実験的検討
 ○庄司学・森山哲雄・藤間功司・嶋原良典・笠原健治

第2日：4月24日（金）

5C-2会場：

13:10~14:55 振動・振動制御

座長：柳澤則文（川田工業）

- (6-1) 歩道橋上を群衆が移動する場合の水平振動応答とその簡易推定法 ○米田昌弘
- (6-2) 遠隔モニタリングによる離島架橋の風速と振動数推定精度の検証
奥松俊博・○Jawaid Bashir Ahmad・岡林隆敏・下妻達也
- (6-3) Dynamic characteristics estimation from the ambient vibration of existing bridge by realization theories
○Md. Rajab Ali・Toshihiro Okumatsu・Takatoshi Okabayashi・Bashir Ahmed Jawaid
- (6-4) 鋼トラス橋の振動特性の同定と斜材損傷が及ぼす減衰性能への影響 ○吉岡勉・山口宏樹・伊藤信・原田政彦
- (6-5) 高架橋模型の強制振動実験と減衰のモデル化に着目したその数値解析
中島章典・○緒方友一・笠松正樹・横川英彰
- (6-6) 振動測定データに基づいた鋼斜張橋モデルの非線形地震時応答解析
○木村浩士・宮森保紀・三上修一・山崎智之・大島俊之
- (6-7) 高架橋周辺の環境振動問題に対する桁端ダンパーの適用
○深田宰史・吉村登志雄・岡田徹・薄井王尚・浜博和・岸隆

15:05~15:50 流体関連振動・風工学

座長：勝地弘（横浜国立大学）

- (10-1) 津波作用時における橋梁周辺の流れと流体力に関する基礎的研究 ○中尾尚史・伊津野和行・小林紘士
- (10-2) 角柱後流で振動する円柱に作用する非定常圧力 ○野田稔・長尾文明・和田浩行・宗田和之
- (10-3) A method for vibration-based health monitoring using nonlinearity measurement
○Theeraphong Chanpheng・Hiroshi Katsuchi・Hitoshi Yamada・Eiichi Sasaki